

福岡県指定無形民俗文化財



八女市黒木町笠原

あさひ さ にんぎょう し ぼ い

旭座人形芝居本公演

2024年11月3日(祝) 13:30開演

観覧無料



公演外題

「寿式三番叟」

旭座人形芝居保存会

「傾城阿波鳴門」巡礼歌の段

黒木小学校人形浄瑠璃クラブ

「傾城阿波鳴門」十郎兵衛住家の段

旭座人形芝居保存会

※演目の終了後におたのしみ抽選会をおこないます

後援 八女市・八女市教育委員会

会場 旭座人形芝居会館

福岡県八女市黒木町笠原5005-2

問合せ先 八女市役所 文化振興課

TEL 0943-23-1982(直通)

旭座人形芝居保存会について

旭座の起源は、1872(明治5)年ごろ、^{かきばら}笠原地区の^{わにばち}鰐八集落に浄瑠璃の名人が現れ、祝いの座でひょうたんや徳利を人形に見立てて操ったことに由来します。

以後、九州内の三座から^{かしら}首を譲り受けて芸題を増やし、農閑期には八女茶のPRを兼ねて興業にまわりました。

1907(明治40)年に旭日に大鷹をあしらった引幕の寄贈を受け、地名に由来した「鰐八座」から「旭座」と呼ばれるようになりました。1955(昭和30)年に福岡県無形民俗文化財に指定されたことを機に保存会を結成し、継承活動に取り組んでいます。



「寿式三番叟」 旭座人形芝居保存会

能の「翁」を人形浄瑠璃に取り入れ、景事物として上演する儀式の舞が「寿式三番叟」です。旭座では、お米やお茶などの収穫に対する五穀豊穡と、息災延命を願い、毎年1月20日の「初光り」と、7月15日の「翁渡し」による「座渡し神事」が継承されています。

右手に神鈴、左手に扇子を持ち、杓時きをイメージした躍動感あふれる動きで四方を清めます。黄金の稲穂が垂れるよう篩から次々と粃を蒔きながら、くまなく舞台を駆け回り、皆様のご健勝とご多幸を祈念します。



阿波の国・徳島藩で、名刀・国次が何者かに奪われる事件が起きる。藩士・十郎兵衛は、この刀を取り戻すため、盗賊銀十郎として、女房のお弓とともに浪速に住んでいた。その上、夫の十郎兵衛は、今日中に五十両の金子を用立てなければならない事情にあった。

ちょうど、金策で夫が留守のところへ、巡礼姿のかわいらしい女の子がご報酬に訪れる。お弓が身の上を聞くと、国は阿波の徳島、父の名は十郎兵衛、母はお弓と答えた。それは紛れもないわが娘、お鶴だったのだ。

お弓は娘に災いが及ぶことをおそれ、母と名乗りたい気持ちをぐっとこらえるが、お鶴は「小さい時に別れて親の顔もはっきりと覚えがなく、よその子たちのように、母さんに髪を結ってもらいたい」と泣き出してしまふ。お弓も涙をこぼしながら、お鶴の身を案じ、徳島へ帰るように諭す。

そんなお弓に、「あなたが母さんのように思えてきました。何でもしますからここに置いてください」とお鶴は懇願するが、置いてやることはできない。お弓が帰りの旅費を渡そうとすると、お鶴は小判をもっているので心配ないと告げる。わが娘のいじらしさに打たれ、自分の髪で髪を結び直し、泣く泣くお鶴を送りだしたお弓。しかし、このままでは二度と会えないと、連れ戻す決心をしてお鶴の後を追いかけていくのだった。

「傾城阿波鳴門」十郎兵衛住家の段 旭座人形芝居保存会

「傾城阿波鳴門」の作者は近松半二。1768年に初演された。本来は全十段構成だが、八段目の「十郎兵衛内の段」を前後半に分け、現在では前半を「巡礼歌の段」として上演されることが多い。旭座では後半の「十郎兵衛住家の段」を上演し、黒木小学校の前半と合わせて、八段目が同時上演されるのは10年ぶりとなる。
(あらすじ)

日暮れの鐘が鳴るころ、十郎兵衛は巡礼の娘を連れて帰ってくる。それが実の娘のお鶴とも知らずに…

お弓の不在をいぶかりつつも、たばこ盆を据えて腰を下ろした十郎兵衛は、娘をそばに寄せ「金を持っているのか」と尋ねる。娘が正直に「小判を持っている」と答えると、武太六から借りた五十両の返済期限がせまっていた十郎兵衛は、少しでも返済の足しにしようと考えた。「この辺りは不用心なので自分が預かってやろう」と騙しかけるが、娘は「財布の中には大事なものが入っているので人に見せるな、とばばさんに言われた」と拒んで逃げようとする。娘をつかみ「こわいこわい」と泣く声が外に漏れるのを恐れて、十郎兵衛は娘の口をおさえると、「二三日でいいから貸してくれ」と言っているうちに、やがて娘は息をしなくなってしまった。

「可哀そうなことをした」と娘を布団に寝かせたところで、お鶴を見失ったお弓が息せききって戻ってきた。「国元からお鶴がやってきたのに追い出してしまった。一緒に探してくれ」と頼み込むお弓。十郎兵衛も慌ててお鶴の年恰好を尋ねると、「巡礼の姿をしている」とお弓が答えたところで、十郎兵衛は気づいてしまう。亡くなったのは実の娘だったのだと。布団の中で冷たくなった娘を見つけたお弓は、なぜ殺したのかと十郎兵衛をなじり、「あの時ここに留めておけば、こんなことにはならなかった」と娘を抱いて激しく嘆き悲しんだ。

やがて二人を捕まえるため、捕手たちがやってきて家を取り囲む。お鶴の亡骸を火葬するため戸や障子を重ねて火をつけると、二人は南無阿弥陀仏と手を合わせて、徳島藩へ戻るために逃げ別れていったのだった。

キリトリ線

旭座人形芝居本公演 おたのしみ抽選会

- ・ご来場の方には演目の終了後、おたのしみ抽選会をおこないます。
- ・応募できるのは公演当日の会場内のみです。
- ・氏名を記入の上、演目が終了するまでの間に、会場内に設置した応募箱に投かんして下さい。(必ず、ふりがなを記入して下さい)
- ・応募はお一人につき一枚までとなります。複数枚応募されても、2枚目以降は無効となります。
- ・抽選時点で会場内にいらっしゃらない場合、当選は無効となります。

応募券

(ふりがな)

(姓)

(名)